

長坂の青空

長坂中通信第5号
令和8年7月15日

質の高い言語化

4月に北海道・三陸沖地震がありました。津波警報も発表され多くの人が避難したと聞いています。被害に遭われた方には、心よりお見舞い申し上げます。私は自宅のテレビでそのニュースを観ていたのですが、津波の危険に対してアナウンサーがこのように避難を呼びかけていました。「津波は、沖合では戦闘機ほどの速さで、陸に上がると新幹線ほどの速さで迫ってきます。津波が見えてからの避難では手遅れになります。今すぐ避難を開始してください。」。津波が迫ってくる速さをこれほど実感(イメージ)しやすく、且つ早めの避難を促す効果的な表現で伝えていることに、不謹慎ながら感心したのを覚えています。

先日、日本語検定委員会の機関誌『ごけん』を読んでいると、「良い言語化は・・・」という文字が目に残りました。筆者は松尾美里さん。ご職業は編集者であり、ライターであり、インタビュアーでもあり、いわば見聞きたことをアウトプット(言語化)する専門家です。その松尾さんの書かれた文章を読んでいると、なぜ今、適切で質の高いアウトプットが求められるのか、また良いアウトプットをするためには何が大切なのかが、分かりやすく書かれていましたので紹介します。

仕事やプライベートなどあらゆる場面で求められる「言葉にする力」。仕事の提案書から SNS での投稿まで、現代生活においてアウトプットの重要性は増すばかりです。さらに生成 AI の「ChatGPT」の公開以降、AI を活用するシーンは急速に広がっています。しかしそんな AI を使いこなすにも「どんな回答を得たいのか」をイメージし、的確な問いや指示文を言語化する力が欠かせません。そもそも自分の考えを相手に正しく伝えること自体、簡単ではありません。「まとめる」「言葉にする」というアウトプットの質を高めるには、本を読む、話を聞くといったインプット段階での工夫が重要です。

(ここから要約してます。)
「読む」インプットも「聞く」インプットも、目的意識は欠かせません。読むインプットでは、本全体の構成を掴み「〇〇が知りたい」という自分の問いを持つことで、良質なインプットに繋がります。聞くインプットでは、質問を重ねながら、相手の考えを探り、その考えの背景にある価値観を理解し、「相手の世界観を言葉にすること」が聞く力の本質であると考えています。

※松尾美里『良い言語化は「インプットの質」で決まる』～日本語検定委員会機関誌「ごけん」より抜粋及び要約～

「読むインプット」について



本は多くの人に「物事を正しく伝える。」「豊かに連想させる。」「より深く思考させる。」など、様々な目的を持ち、正しい日本語、また表現豊かな日本語が使われています。多種多様な本をたくさん読むことで、幅広い知識や論理的な思考や豊かな想像力が身についたりします。そこに松尾さんが言われる「目的意識」が加わることで、インプットの質が上がり、自分の考えや伝えたいことを整理して、正しい日本語で適切に表現する良質なアウトプットができる力にも繋がります。

「聞く」インプットについて

松尾美里さんは、主にインタビューの場面で必要な「聞く」について書かれていたように思いますが、普段の生活の中にある聞くこと全般に通ずることでもあると思います。ただ耳に入ってくる聞くではなく、「目的意識をもって聴く。」「質問を重ね、より深く理解する。」など、相手の話に傾聴することで、よりよい他者理解に繋がると思います。



アウトプットってやっぱり難しい〜。けど・・・

SNSの普及に表されるように、現代社会は発信の社会であり、発信（アウトプット）の機会が多く、普段の生活でも、友だち関係においても、ついつい発信することばかりを考えてしまいがちです。しかし松尾美里さんは良質なアウトプットのためには、質の高い「読む」や「聞く」が大切であると書かれていました。私は特に「聞く」ことの大切さについて皆さんに伝えたいと思ったのですが、松尾さんの考えをうまくまとめて文章にできなくて、結構、モヤモヤ・・・。アウトプットって、う〜ん、難しい。

ちなみに、質の高い言語化（アウトプット）することについて、松尾さんはこんなことも言われています。

- ・同じ出来事でも、語彙や文体、文のリズム、比喩表現などによって伝わり方が変わります。「**どんな言葉を選ぶか**」に自覚的であることが、良い言語化への第一歩です。
- ・「アウトプットをすると、何かしらの反響があります。それが大事なインプットになり、さらにアウトプットが磨かれていきます。**「失敗しても大丈夫。伝えようとしたこと自体尊い。」**というメッセージを届けたいです。
- ・アウトプットの力を磨いていくことは、**伝える先にある相手や社会を思いやる行為でもあると思います。**「この言葉を相手はどう受け止めるだろうか。」と思いを馳せることで、自分と相手の間に橋を架けやすくなります。



長坂中学校は、体育大会、全校道徳や探究学習など、学年を問わず異年齢のグループで取り組む機会を多く取り入れています。その取り組みは、クラス替えのない中学校生活で、多様な考えや意見に触れることができる貴重な機会です。特に全校道徳は、様々な考えが出される場です。たくさんの意見に耳を傾け、自分の考えを整理し、誤解が生まれない言葉、効果的に伝わる言葉を考え、勇気を出してアウトプットしちゃいましょう。もし、うまく伝えられなくても大丈夫。伝えようと頑張ったことに意味がある。松尾さんの言葉では「尊い」のです。聞くことで相手を理解し、聞いてもらうことで私を理解してもらう。道徳の授業って公德心を身に付けながらも、よりよく生きていくための人間関係を作る練習の場なのかもしれないですね。

普段は無意識に行っていますが、「聞くこと」と「伝えること」、それぞれに意識を持って学校生活を過ごしてください。そうすることで誰かを傷つけたり、誤解が生じてトラブルになったりすることがなくなっていくかもしれません。みんなが気持ちよく安心して過ごせる学校は、そんな小さな一歩から始まるのかもしれないですね。

※学校だよりへの掲載について、日本語検定委員会に了承をいただいております。

8月の予定 (毎週木曜日：定時退勤日)			給食			吹奏楽	教育相談等	9月の予定 (毎週木曜日：定時退勤日)			給食			吹奏楽	教育相談等
日	曜	学校行事	1	2	3			日	曜	学校行事	1	2	3		
1	土							1	火		○	○	○	○	
2	日	長い夏休みです。健康管理に留意し、普段できない読書や家のお手伝いなど、また、1学期の学習内容の復習に取り組んでください。充実した時間を過ごしてくれるよう期待しています。 保護者の皆様、平素より大変お世話になりました。2学期もまたよろしくお願いいたします。						2	水	専門委員会	○	○	○	○	SSW
3	月							3	木		○	○	○	×	
4	火							4	金		○	○	○	○	
5	水							5	土	丹有新人陸上					
6	木							6	日	丹有新人陸上					
7	金							7	月	全校朝礼	○	○	○	×	
8	土							8	火		○	○	○	○	SC
9	日							9	水		○	○	○	○	
10	月							10	木		○	○	○	×	SSW
11	火	山の日						11	金	オープンスクール	○	○	○	○	
12	水							12	土						
13	木	一斉休校						13	日						
14	金	一斉休校						14	月		○	○	○	×	
15	土	一斉休校						15	火	安全点検日	○	○	○	○	SC
16	日							16	水		○	○	○	○	SSW
17	月	安全点検日						17	木	教育実習最終日	○	○	○	×	
18	火							18	金		○	○	○	○	
19	水							19	土						
20	木							20	日						
21	金							21	月	敬老の日					
22	土	広野地区納涼大会						22	火	国民の休日					
23	土							23	水	秋分の日					
24	月							24	木		○	○	○	×	
25	火							25	金	体育大会結団式	○	○	○	○	
26	水							26	土	三田市新人大会					
27	木							27	日	三田市新人大会					
28	金	始業式 教育実習開始	×	×	×	○		28	月	体育大会練習開始	○	○	○	×	
29	土							29	火		○	○	○	○	SC
30	日							30	水	専門委員会	○	○	○	○	SSW
31	月	実力・課題考査	○	○	○	×									

※9月の行事予定は、7月15日現在での予定です。

※部活動地域展開後の最終下校 年間を通じて16：45となります。(吹奏楽部のみ2学期～9/20まで17：45)

※生徒の自主学習を目的に、夏季休業中に教室を開放する予定にしています。詳細は改めてご連絡いたします。

<10月の主な行事>

1日トライやるウィーク統一訪問 2日体育大会予行 5日全校朝礼 7日育大会準備 8日第80回体育大会

9日体育大会予備日 10日市駅伝、丹有新人 11日丹有新人 15日安全点検日 23日3年実力考査、文化祭舞台設営

28日丹有駅伝